

長 崎 市
N A G A S A K I

歩いて楽しい まちづくり構想



平成23年3月
歩いて楽しいまちづくり座談会

目次

第1章:歩いて楽しいまちづくり構想とは.....	1
1 歩いて楽しいまちづくり構想とは.....	2
2 構想ができるまで.....	3
第2章:歩いて楽しいまちの姿.....	5
1 来訪者に持ってほしいまちのイメージ.....	6
2 座談会での検討の流れ(第1回~4回).....	8
3 歩いて楽しいまちの姿(めざす姿).....	20
第3章:歩いて楽しいまちを実現するために.....	47
1 実現化の道すじを考える.....	48
2 みんなでつくるまちに向けて.....	54

第1章

歩いて楽しいまちづくり構想とは

1 歩いて楽しいまちづくり構想とは

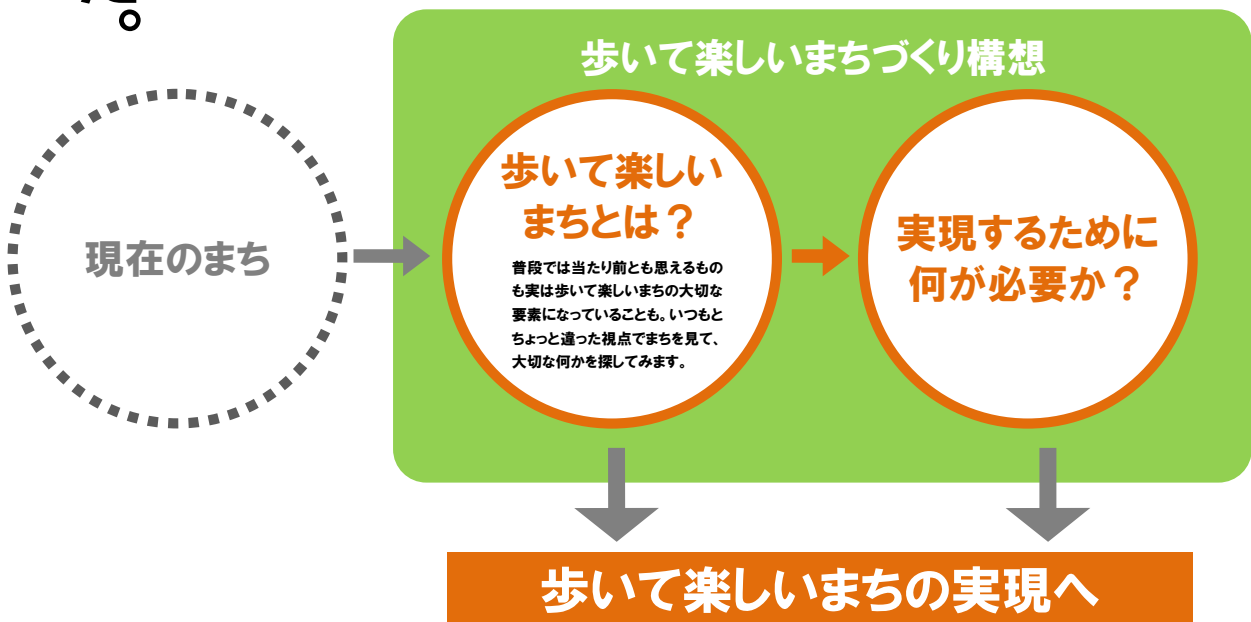
「歩いて楽しいまち」についてのふたつの？をみんなで考え、みんなが実現するために創りました。

2006年4月からスタートした「長崎さるく」。

長崎市で生まれ育まれてきたこの新しいスタイルのまち歩き型観光は、ここ長崎市はもとより全国に広まりつつあります。

『歩いて楽しいまちづくり構想』とは、市民はもとより国内外の来訪者にとって、長崎市がもっともっと歩いて楽しいまちとなることを目指し、歩いて楽しいまちの姿は？（将来ビジョン）と、それを実現するために何が必要か？という「2つの？」を取りまとめたものです。

この構想は、みんなが歩いて楽しいまちの姿を描き、その姿の実現にみんながそれぞれ参加することを目指しています。



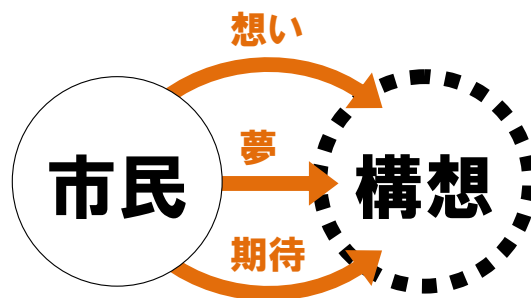
2 構想ができるまで

『歩いて楽しいまちづくり構想』をつくる主役はもちろん市民の皆さんです。

そこで、策定にあたっては、多くの市民の皆さんの声を頂くために「歩いて楽しいまちづくり座談会」を開催しました。

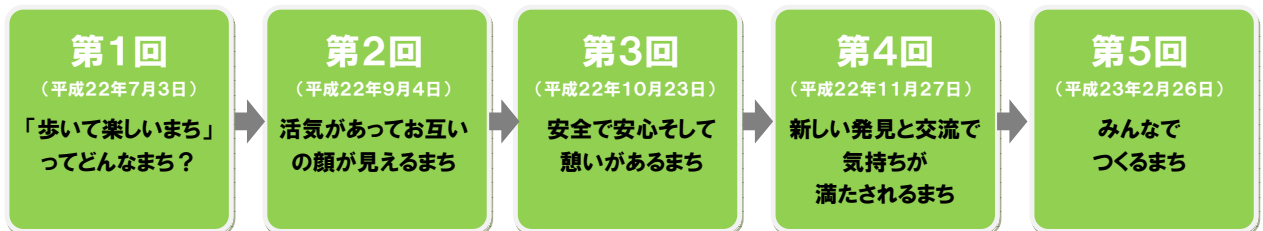
座談会は全5回。平成22年7月に第1回を開催して以来、楽しく意見交換をしたり、時にはまちに飛び出しまちの魅力を再発見したりしながら議論を進めてきました。

参加者数は実に1,000人超。この構想は多くの市民の皆さんのリアルな声と夢、願いが詰まっています。



延べ1000人の英知の結晶。
子どもからお年寄りまで、
幅広い年代のリアルな声と
夢が詰まっています。

歩いて楽しいまちづくり座談会の流れ



第2章

歩いて楽しいまちとは？

1 来訪者に持ってもらいたいまちのイメージ

長崎を訪れる人は、長崎に対しさまざまなイメージをもっています。

そこで、歩いて楽しいまちを考える前に、まずは長崎を訪れる皆さんに抱いてもらいたい長崎のイメージを想像してみました。

こんなつぶやきが聞こえてくると、市民にとっては嬉しいものです。

久しぶりにワクワクした（30代男性）

竜馬が長崎で活躍した理由が少しわかった気がする（50代男性）

長崎って歴史だけだと思ってた、失礼！（20代男性）

歴史ってわかると楽しい（30代女性）

ここってほんとに日本？って思う（30代女性）

へー、がたくさん（50代男性）

予定がなくてもいいかも、と思った（50代男性）

夜景ってやっぱり凄い！（60代男性）

港の風景がいいね（50代男性）

坂道がきつい！けど楽しい（20代女性）

ネコが多い？まちに馴染んでる（20代女性）

通りに表情があるね（70代男性）

まちの中に川（中島川）があるのは羨ましい（30代男性）

知らないまちだけど、何となく懐かしい感じがする（40代男性）

観光でこんなに歩いたの初めて（30代女性）

何も無いけど、なんかいい感じ（40代女性）



長崎を訪れていた100人に聞きました。

長崎で感じたことは？



コンパクトに歩いて回れるのがいいね (40代女性)



路面電車って日本一便利と思った! (20代男性)

車が通らない狭い路地が素敵 (50代女性)



うまいものがありすぎる! (20代男性)

カステラだけだと思ってた (30代女性)

長崎の商店街ってすごい人が多くて楽しい (30代女性)

ストリートライブの人の声が素敵だった (20代女性)

まちなかにカフェが増えてきた気がする (40代女性)

公園がいい (20代男性)



ひとつ尋ねると10倍にしてくれる (20代女性)

今度は大切な人と来てみたい (20代女性)

おせっかいだけど笑えるね、長崎の人って (30代女性)



住んでもいいかな、と思った (40代男性)

子育てしやすそう (30代女性)

普段より会話したくなる (30代男性)



この人が他人とこんなに話すのをはじめてみた (50代女性)

お店のおばちゃんに1時間つかまった (笑) (30代男性)

買ったものより、もらったものが多かった (40代男性)

知らないことを尋ねやすい雰囲気がある (20代男性)

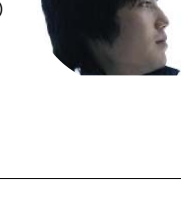


まち歩きって長崎が発祥なんだ! ? (40代女性)

もっと長崎のことが知りたくなった (50代男性)

歩くのって、オシャレじゃん (20代女性)

長崎の露出少なすぎ! もったいない (30代女性)



2 座談会での検討の流れ

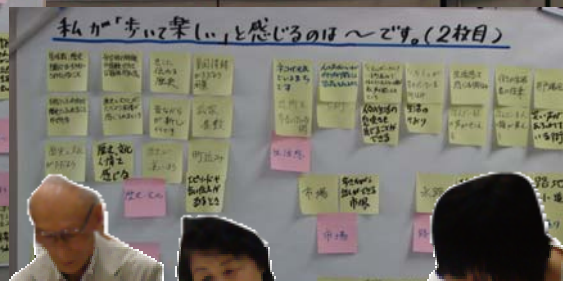
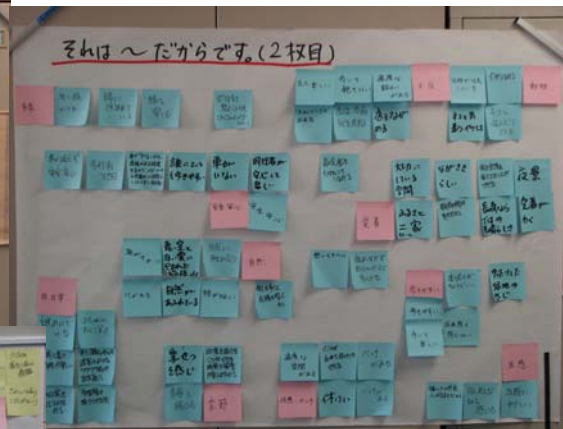
歩いて楽しいまちを考える座談会は合計5回開催しました。さらに、有志による準備会も立ち上がり、熱気に満ちた議論が展開されました。ここでは、1回から4回までの流れを振り返ってみます。

第1回座談会

7月3日(土)
18:30~20:30
長崎市立図書館
(多目的ホール)

【テーマ】歩いて楽しいまちってどんなまち？

記念すべき第1回座談会。土曜日夜にも関わらず100名近くの参加者で会場は熱気にあふれています。検討テーマは、「歩いて楽しいまちってどんなまち？」。10グループに分かれ、参加者それぞれの視点から、具体的なシーンとその理由について意見交換を行いました。



【具体的な意見】

- ・ テーマのあるまち
- ・ 自然の豊かなまち
- ・ 歴史やポリシーが感じられるまち
- ・ ゴミがないまち
- ・ おいしいものを食べられるまち
- ・ 見たり聞いたり触れ合ったりできるまち
- ・ さるく専用の歩行者道路があるまち
- ・ 笑い声があふれるまち
- ・ 子供が楽しめるまち
- ・ 江戸の史跡が楽しめるまち
- ・ 息づかい（生活感）が感じれるまち
- ・ 新しい発見が尽きないまち
- ・ 再発見も多いまち
- ・ 1人で歩いても安心なまち
- ・ 歩きやすい道
- ・ 深い歴史を感じることができるまち
- ・ 「〇〇してみたい」まち
- ・ 車が通らず、ゆっくり見てまわれる通り
- ・ 女性・子供・高齢者が歩きやすいまち
- ・ グラパスカイロード・水辺の森・港界限
- ・ 駅から美術館に通じる散歩道
- ・ 南山手・東山手・オランダ坂の雰囲気
- ・ 館内の小道
- ・ いろいろな人と出会えて会話がたのしめるまち
- ・ 季節感を肌（五感）で感じれるまち
- ・ 子供が自分の街を自慢できるようになっていると思える時
- ・ 市民が観光の街として人と接する時
- ・ 街に活気があって猥雑な感じがする時
- ・ 外から来た人が長崎の普通の生活の中に面白さを発見した時
- ・ お腹が減る街
- ・ 行く先々や街角においしい食べ物を発見した時
- ・ 行く先々に色んなエピソードや言い伝えがある時
- ・ 中島川周辺
- ・ 歴史・文化や人情が感じられるまち
- ・ 人や自然の営みが見えるまち
- ・ 見る（感じる）ものがあるまち
- ・ 段差がない道・歩道が傾斜していないまち
- ・ ちょっとした花壇、ポスター、ベンチなどがあるまち
- ・ 人の声が聞こえるまち
- ・ 県外から帰って来たとき
- ・ ボランティアガイドで自分も充実できるまち
- ・ 猫が元気である街
- ・ 公衆トイレがある・場所の周知
- ・ 綺麗でゆっくり歩けるまち（ゴミがなく、歩道整備がしてあるまち）
- ・ 行ったことがない長崎のまち
- ・ 好きな人と散歩するとき
- ・ 気持ちのいい風景に出合ったとき
- ・ 新しい発見をしたとき（生活感に根ざした・四季おりおりの）
- ・ 人とふれあって、様々なことを教えてくれるとき
- ・ 街の躍動を感じる時
- ・ その土地の特色（景観・歴史・食・習慣等）が体験できるまち
- ・ 回遊性があるまち。迷路・坂道
- ・ おいしい食べ物があるまち（トイレの整備も）
- ・ 中島川公園付近
- ・ 古い建物が残る町並み
- ・ 色々な事が発見できるまち。自然、歴史にふれあえるまち
- ・ 景色がきれいなところ（きらめきどおり、高い場所、大学の中）
- ・ 沿道に緑や花があるまち
- ・ 色々な人々とふれあい、話せるまち。長崎を肌で感じて歩けるまち
- ・ 銅座通り
- ・ 人とのふれあいがある街
- ・ 中新町～新地の通り
- ・ 気の合う人と歩くとき
- ・ 中島川沿い、伊王島の外周道、水辺の森～出島ワーフ、みかえり柳通り
- ・ （思案橋）
- ・ きれいな通り（ゴミがない通り）
- ・ 寺町・中通り
- ・ 中通り商店街
- ・ 知らない場所の散歩
- ・ ゆっくりと会話できるまち
- ・ 石畳の“みち”昔の風景
- ・ 昼と夜の発見“銅座”
- ・ 中島川周辺
- ・ 南山手～オランダ坂～水辺の森



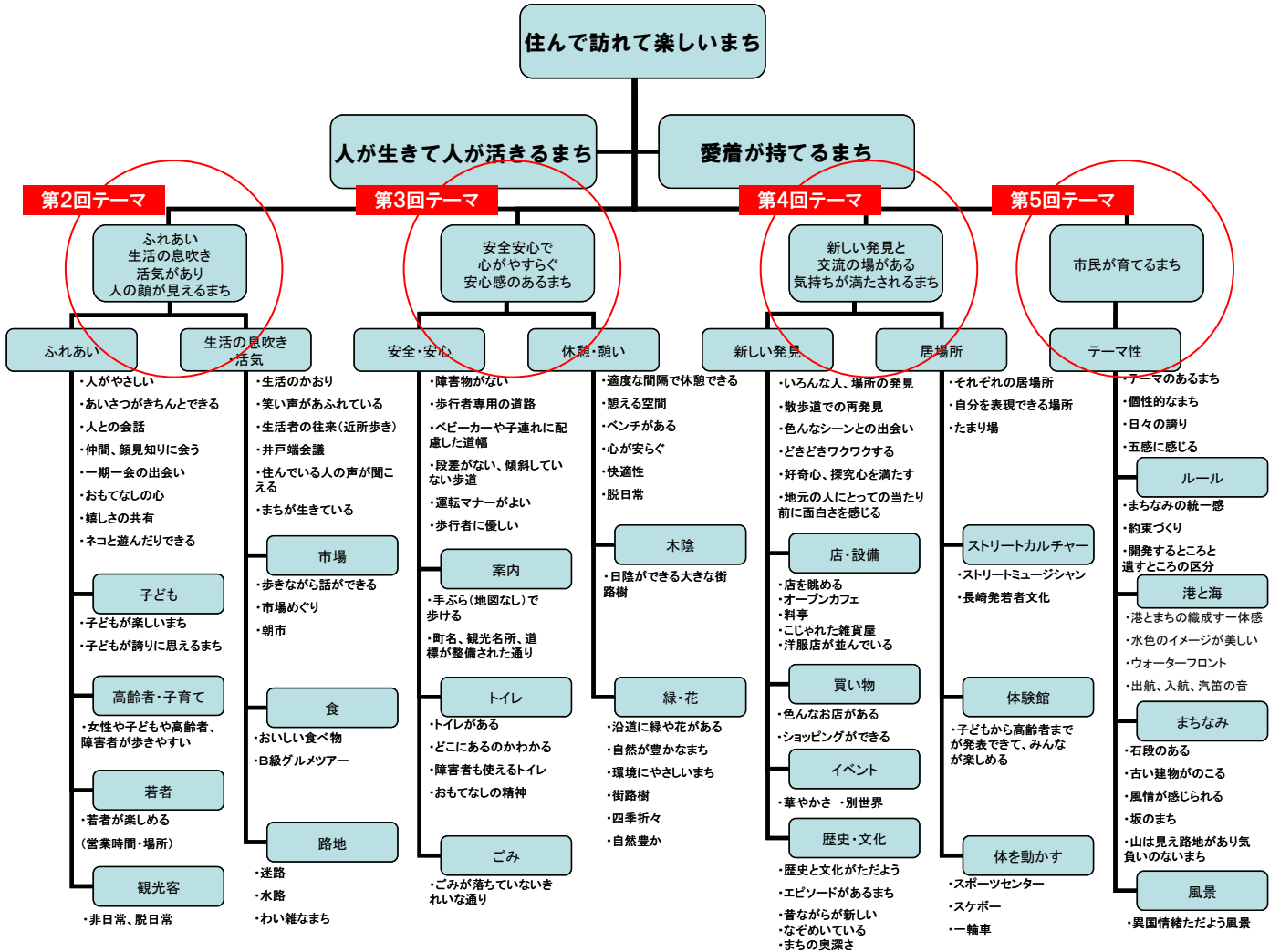
準備会

第1回座談会を終え
有志による「準備会」※を開催。
検討のロードマップを
つくりました。

第1回で出された数多くの意見。
このままいくと収拾がつかいません。
そこで今後の会議の進行を考える準備会を結成。
まずは意見のグループ化し、
右図のようなロードマップをつくりました。
第2回からはマップの大きな方針にそって
さらに具体的な検討を行うこととなりました。



(第1回座談会での意見を集約したロードマップ)



第2回座談会

9月4日(土)
10:00~12:00
長崎港松が枝
国際ターミナル
(1階ホール)

【テーマ】 活気があってお互いの顔が見えるまち

第2回座談会は2ラウンド制でのワークショップ。

第1ラウンドでは日常生活の視点で歩いて楽しいまち、
楽しくないまちを考えました。

第2ラウンドでは、子ども、大人、若者、高齢者、来訪
者という“人”の視点で考えました。

また今回は未来を担う子どもたちも参加。

夢いっぱいのおったかい提案が行われました。

【主な意見】

第1ラウンド:「日常生活の視点でまちについて考えると」

■人とのふれあいがあるって歩いて楽しいと感じるのは～です。

- ・ 周囲の景色の移ろいを車を気にせず楽しみ歩ける事。
 - ・ 緑の多い公園があるまち。
 - ・ 旅行者に道を教えてあげたとき
 - ・ 子供たちとの挨拶、人とのふれあいがある
 - ・ 挨拶が返ってくるとき
 - ・ 商店街のまち歩き
 - ・ 観光地へ行ったとき
 - ・ 見知らぬ人とあいさつを交わしたとき
 - ・ 知らない人からまちの話題を勝手に説明されたとき
 - ・ テレビを見ているとき
 - ・ 暮らしている人の顔が見えるまち
 - ・ 中島川周辺での長崎夜市
 - ・ 祭りやくんちなど若者が元気!で人とのふれあいができるところ
 - ・ ブラブラ見てまわれるお店がある道
 - ・ 浜んまちアーケードから外れた細い通り
(リカちゃん通りとか) お店の人の笑顔
 - ・ おくんちのとき!
 - ・ (中通り) 商店街⇒人通りが多い
 - ・ 人口の集約・増加
 - ・ 笑顔、笑い声があふれるまち
 - ・ 遊び心
 - ・ 観光客が多い通り
 - ・ さまざまなイベント/事業が起きる
 - ・ いろいろな建物や街並みを見ることができる
 - ・ あいさつ
 - ・ 人から道を聞かれる
- 活気なし ⇔ 歴史を大切にしていない



■私が歩いて楽しくないまちだと感じるのは～です。

- ・汚いまち
- ・活がないまち
- ・交通マナーが悪いまち
- ・区画が整然とした団地
- ・人との会話がないうち
- ・食べ物がまずい
- ・くらいまち
- ・不潔なまち
- ・工業地帯
- ・案内板が分かりにくい

■私が長崎の好きなところは～です。

(未来の長崎チーム：ジュニアリーダー空)

- ・アーケードにある2階にある小さなお店
- ・学校(海星)の窓から見る景色
- ・学校(山里)!
- ・「ジュニアリーダー空」
- ・都会には無いような海、山
- ・長崎工業
- ・「ジュニアリーダー空」のみんな
- ・電車がとっても便利

第2ラウンド:「それぞれの立場でまちについて考えると」

■(子ども)にとって歩いて楽しいまちは～だと思います

- ・環境…自然(中島川)、植物
楽しみながら、環境の大切さを実感する→大切にす
- ・人…いろんな世代との関わり
生活感のある、にぎわいのあるまち
- ・設備…小さな公園(遊具にもバリエーション)駄菓子屋
- ・新しい発見がたくさん出会える
- ・遊び場がたくさんある
- ・地域のイベントに参加できる
- ・大人が程よく見守っている
- ・子供に見やすい掲示板、歩きやすい道(道路整備)
- ・安全に遊べる ソフト、ハード

■(大人)にとって歩いて楽しいまちは～だと思います。

- ・環境が美しい(水・花・緑・街路樹)
- ・昔ながらの風景(子供時代)
- ・屋間に集まる場所(きれいなデザイン、体にやさしい)
- ・楽しい散歩・楽しい話(休憩所、集まる所)
- ・食べ歩きできる飲食店が少ない
- ・市場のにぎわい(館内・新大工・大黒)
- ・偶然の出会いやつついづい買いたくなるような喜びの場
- ・地域ごとのショップがない

■(若者)にとって歩いて楽しいまちは～だと思います

- ・スゴいイベントがある街→若者は刺激と出会いが楽しいから
です
- ・育児中の子どもと一緒に行動できる街→ふれあいが多く育児に励める(刺激)
- ・新婚さんが気楽にKISSできる街
- ・ファッション、映画・音楽が充実している街
- ・歴史の中にある魅力を大切にす
- ・美味しい、本物の味の(小さな)お店が生活の中で続いていく
- ・仲間がいる(同級生)
- ・おしゃれをして遊びに行ける
- ・動物(犬、猫)と触れ合える

■(高齢者)にとって歩いて楽しいまちは～だと思います

(高齢者にとっては地獄)

- ・休む場所がある
- ・交通機関が便利
- ・交通機関のバリアフリー
- ・古い街並みが残っている
- ・歩きやすく安全な歩道
- ・自然を残すミニ広場
- ・買物の配達がある
- ・笑顔がある、段差のない自然が残る
- ・非日常性が楽しめる、皆と健康づくりできる街
- ・車を気にしないで歩くことができる
- ・集まれる場所がある
- ・若者が元気!

■(来訪者)にとって歩いて楽しいまちは～だと思います

- ・長崎ならではの・・・
- ・市民が楽しい街だと来訪者も楽しい(市民第一)
- ・出会いと発見がある街
- ・コンセプトが明確で多様性
- ・エキゾチズム
- ・長崎の歴史を感じる街
- ・美味しいものがいっぱい!!

■長崎の将来こんなまちだったらいいな (未来の長崎チーム：ジュニアリーダー空)

- ・自然はそのままでもっと都会になってほしい
- ・街全体が明るく元気で自然をキレイにしてほしい
- ・街の雰囲気は変わらずに交通面が便利になってほしい
- ・遊園地欲しいなあ
- ・世界の「くんち」になれ!
- ・長崎の…いや!!世界の「ジュニアリーダー空」
- ・さるきたくなる街づくりに!
- ・帰ってきてても、今と変わらないままであってほしい



コーディネーター船木さんによる第2ラウンド
 (それぞれの立場でまちについて考えると)のまとめ

The handwritten notes are organized into several columns and sections:

- Left Column:**
 - ① 新しい発見
 - ② 地域情報 (Data)
 - ③ 自由
 - ④ 外出への誘い
 - ⑤ 自然の開放
 - ⑥ 地域の目標
 - ⑦ 人
 - ⑧ 女性
 - ⑨ 公園
 - ⑩ 自然
- Middle Column:**
 - ① 地域情報 (Data)
 - ② 新のIT
 - ③ 伝統
 - ④ 自然の開放
 - ⑤ 自然の開放
 - ⑥ 自然の開放
 - ⑦ 自然の開放
 - ⑧ 自然の開放
 - ⑨ 自然の開放
 - ⑩ 自然の開放
- Right Column:**
 - ① 自然
 - ② 自然
 - ③ 自然
 - ④ 自然
 - ⑤ 自然
 - ⑥ 自然
 - ⑦ 自然
 - ⑧ 自然
 - ⑨ 自然
 - ⑩ 自然

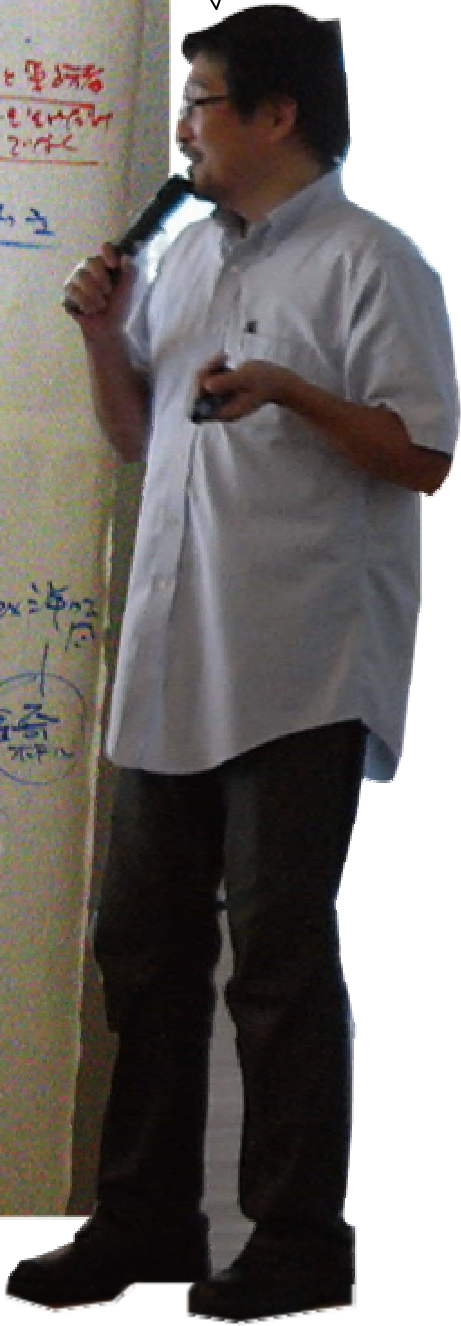
At the bottom of the page, there are three illustrations:

- Illustration 1:** A family of three (mother, father, and child) standing together.
- Illustration 2:** Two women sitting on the ground, talking.
- Illustration 3:** A man and a woman standing together.

Handwritten notes on a whiteboard, organized into several sections:

- Top Left:** "市場があった" (Market existed), "市場MAP" (Market Map), "大人" (Adults).
- Top Center:** "長崎の若い者には" (For young people in Nagasaki), "地獄のマップ" (Hell Map), "作られた場所がある" (There are places that were made), "公園〜" (Park...), "交通機関のマップ" (Map of transportation).
- Top Right:** "長崎の若い者" (Young people in Nagasaki), "食心" (Food/Heart), "心と心が通じる" (Heart and heart connect), "心と心" (Heart and heart), "心と心" (Heart and heart), "心と心" (Heart and heart).
- Middle Left:** "若い者の心" (Heart of young people), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building).
- Middle Center:** "若い者の心" (Heart of young people), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building).
- Middle Right:** "若い者の心" (Heart of young people), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building).
- Bottom Left:** "若い者の心" (Heart of young people), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building).
- Bottom Center:** "若い者の心" (Heart of young people), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building).
- Bottom Right:** "若い者の心" (Heart of young people), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building), "古い建物" (Old building), "新しい建物" (New building).

子ども、若者、大人、高齢者、来訪者、いろんな視点でみるとさまざまな違いや共通点が見えてきます。



第3回座談会

10月23日(土)
18:00~20:30
アマランス研修室

【テーマ】安全で安心そして憩いがあるまち

第3回座談会は、歩いて楽しいまちをつくるための具体的なアイデアを検討しました。7つのテーマに分かれてそれぞれ活発な検討を行いました。

【主な意見】

■人と車のすみ分ける道づくり(解決策)

- ・生活道路(南山手)
- ・段差をなくして車道→アスファルト
- ・歩道→石畳
- ・幹線道路(浦上川沿い)
- ・“ピシッと別れる”
- ・“歩道”じゃなくて“歩行者専用道路”
- ・道の色分け
- ・電柱をなくす
- ・点字ブロック

■まちを彩る緑や花があるまち

- ・エリアの連帯感
- ・小規模でも早く始める
- ・緑化＝エコ
- ・行政と住民がよく話す
- ・季節ごとにイベント
- ・パブリックゾーン＝皆で統一
→街を財産にする(良い規制)
“街を皆で育てる”
- ・子供と一緒に育てる。
- ・楽しむ
- ・今あるものを活かす
- ・長崎らしさ＝坂

■ごみがないまち

- ・市民大清掃…まずは拾わせてみる
→親子で参加するしくみ
→公共の場はどうするか
- ・観光都市だから、市がごみを無くさせる(啓発)
- ・芸術活動で街をきれいにする
普及啓発
長崎市と市民が一体となるべき!!



■ひと息つける場所があるまち 長崎さるく茶屋プロジェクト

- ・ まち “色” “文化” に合わせた雰囲気（和華蘭）
- ・ 通りに “ばんこ” がある
- ・ 休日限定 歩行者天国
- ・ 茶屋の近くのトイレはキレイに。ゴミは持ち帰ろう！

■安心して歩けるまちの設備

- ・ 住民に必要な箇所を話し合い、行政に要請する（優先順位）
- ・ 住民の労働奉仕も一考→コストダウン
- ・ 公衆電話ボックスに緊急電話を設置（あじさいコールの活用）
- ・ IGに任せた
- ・ 店舗や個人宅や第2の公共の協力
- ・ NPO（自治会や認可地縁団体が出資）

■わかりやすい案内があるまち①

- ・ How（どうやって）・・・地域版ウィキペディアを制作
- ・ Who（誰が）・・・長崎市民全員で！
- ・ Where（どこで）・・・地元で

■わかりやすい案内があるまち②

- ・ パンフレットと標識がリンクしたものを！
- ・ 地元タウン誌との連携
- ・ 統一性が欲しい
※歩道の路面に表示するなど（寺町通り）
- ・ 観光拠点に常設のインフォメーションをつくる！
※バイリンガルインフォメーションセンター
- ・ 商店街のお店にも協力してもらいたい

■コミュニティをいかに創り・維持するか

【問題点】

安全・安心・憩いのベースである人間関係がこわれている

【解決策】

- ・ 時間をかけて繰り返し取り組む
- ・ 場所は商店街のシャッター通りや市場
- ・ コミュニケーションができる仕組み
- ・ みまもり、たもち人と人がつながるイベント
- ・ まちなか探検、年間を通して何らかのイベント、思わず立ち止まるイベント
- ・ 縁側の復活・新たな縁側をまちの中につくろう



第4回座談会

11月27日(土)
14:00~16:30
市立図書館
(新興善メモリアル)

【テーマ】新しい発見と交流で 気持ちが満たされるまち

第4回座談会は、新たな魅力の発見を目的とした「まちなか魅力新発見ツアー」。

5人のツアーリーダーが企画したオリジナルまち歩きを満喫しながら、参加者一人ひとりが新たな発見に驚きの連続でした。

のざわ のりこ氏 (まんが家)

(テーマ) メモを片手に歩いてみたら・・・
(コンセプト)



私はメモ帳片手に散歩気分でまちを歩くのが好きでどこに行くにもメモ帳を持ち歩いています。

今回のツアーは、みなさんが普通に思っていることが、外の人からみると新鮮なおどろきだということを感じてもらいたいと思い企画したツアーです。



Go!Go!ともっち氏 (観光ブロガー) 長崎県観光振興推進本部所属

(テーマ) 観光地以外の観光を楽しもう～お気に入りのお店と人を訪ねて～
(コンセプト)



旅の楽しみは観光スポットを訪れる以外にもご当地グルメを食べたり、お土産店めぐり、人との出会いなど様々な楽しみがあります。

今回のツアーは、県外の方を連れて行って好評だったお店や、私が出会った長崎の素敵な人の店に立ち寄りながら、長崎をぶらぶら散策しましょう。



市原 ゆかり氏 (長崎かどみや おかみ)

(テーマ) アンティークなキモノが似合う街・長崎
～新大工界隈でフォトジェニックなシーンを探す街歩き
(コンセプト)



新大工町界隈は長崎の日常でありながら、アジア的な雰囲気や路地裏スポットがのこる生きた商店街です。

今回のツアーは、西洋と東洋がミックスされたアンティーク着物と商店街のコラボレーションの楽しさを実際に体験してもらうツアーです。



嵩山 幸之輔氏 (K&Mトータル オフィス代表)

(テーマ) 見慣れた長崎の風景が、携帯カメラを使って新たな長崎の街へ変わる！
(コンセプト)



普段から見慣れている長崎の風景が、携帯カメラ使ってあらゆる角度から撮影する事でオシャレな街へと変わります!!

今回のツアーは、日常生活の中で普段は見ない角度から長崎の街を見て・撮影しながら、新しい再発見を楽しんでみたいと思います。



安元 哲男氏 (アートクェイク代表 ハマスカ実行委員会)

(テーマ) 先進メディア&劇場都市・長崎を歩く
(コンセプト)



今回のツアーは、長崎が新しいメディアを生み出し、文化を広げることの出来るまちであることを実感するツアーです。長崎は新しい文化を生み出し、育む力と風土があるまちであることを再認識してみましよう。



4回の検討から見えてきた

3 歩いて楽しいまちの姿（めざす姿）

4回の座談会を終え、歩いて楽しいまちには6つのキーワードがあること、また、20のシーンで長崎のまちの楽しさを表現できそうなことがみえてきました。

4回の座談会から見えてきたもの



歩いて楽しいまちには
6つのキーワードがある！

- ①心ときめく新たな出逢い
- ②素顔の魅力
- ③安心と便利
- ④楽しい・美味しい
- ⑤まちの呼吸が聞こえる
- ⑥新しいまち歩きを発信する



そして、
20のシーンで
長崎のまちの楽しさを
表現できそう！





- ①何と出逢うか、ドキドキ・ワクワク感があふれる
- ②知的好奇心や探究心、遊び心をくすぐる出逢いがある
- ③世界とつながる、今とつながる歴史に出逢う



心とまぎれ
新たに
なめく
出逢い

①心とまめく新たな出逢い

(座談会でのつぶやき)

歩いて楽しいまちとは？

- ・ 初めて知ることが多くて楽しい
- ・ 猥雑な中にも迷宮のようなワクワク感がある通り
- ・ 発見できるものがたくさんあり、共感できるみち
- ・ どこを歩いてもおもしろい発見があるところ
- ・ かくれた名所がたくさんある！
- ・ 市民の息吹を感じてワクワク、ドキドキ新たな発見がある
- ・ 歩くたびに偶然の出会いと新しい発見がある
- ・ 色んな所に見処が散在している
- ・ おや、こんなところがあると発見できる

- ・ 好奇心がわいてくる。
- ・ 好奇心が満たされる。
- ・ 新しい発見をした時 知識を得た時、好奇心と探究心を満足して愛着心が沸く
- ・ 初めてみるものが多く探究心がわいてくる
- ・ 昔懐かしい気持ちわいてくる

- ・ そのまちの文化や世界に入り込める。
- ・ 長崎の歴史にふれあう事。良い事であったり、悪い事など発見がある。
- ・ 歴史的遺産の再発見と発見する自覚です。
- ・ 歴史を感じるころ
- ・ 異国情緒なところ
- ・ まちなかに歴史スポットがたくさんある
- ・ 原爆、幕末、キリシタン、3つがそろっているのは世界で長崎だけ

歩いて楽しいまちのシーン

歩くたびに新たな発見(出逢い)。
次の展開が読めない
シナリオなしの長崎は、
ワクワク・ドキドキに
あふれています。

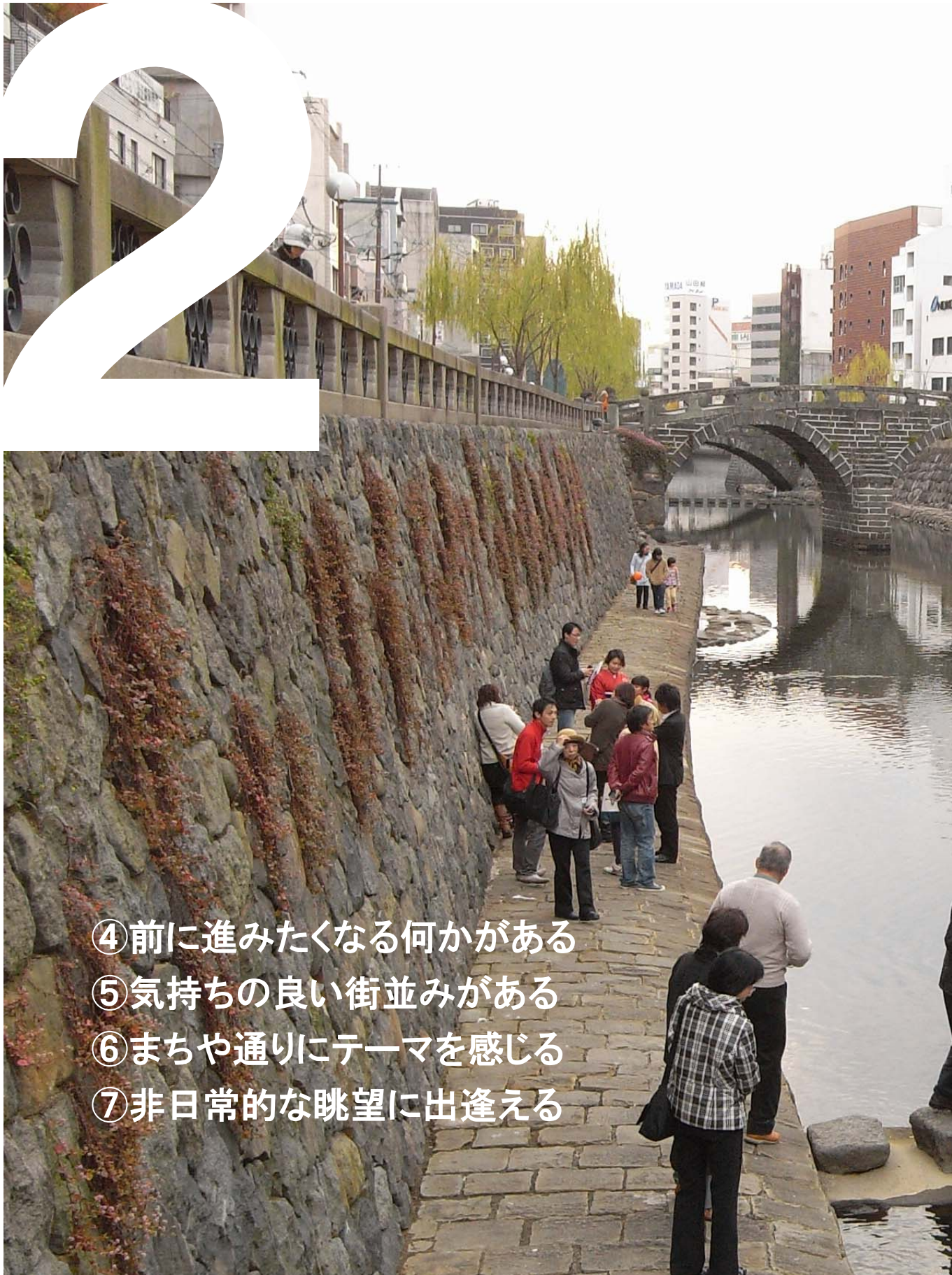


全ての人を持っている好奇心。
普段は眠っている感覚が
まちを歩くことで覚醒します。
好奇心が好奇心を生み出す、
ディープスパイラルなまち、長崎



長崎の歴史は単に
古いだけではありません。
日本の縮図ともいえる
歴史は現代社会の礎として
確実に今とつながっています。
そして、共生の世界へのヒントが
あふれています。





- ④前に進みたくなる何かがある
- ⑤気持ちの良い街並みがある
- ⑥まちや通りにテーマを感じる
- ⑦非日常的な眺望に出逢える



素顔の魅力

② 素顔の魅力

(座談会でのつぶやき)

歩いて楽しいまちとは？

- ・ 古い倉庫群とゆったりした路地の感じ。海に面して
いて広々としている。
- ・ 少し歩いて高台に出たり町が立体的に見える
- ・ 坂の街、石段のある町、山の稜線が眺望できる
- ・ 小さな道がおもしろい
- ・ 雑貨屋とオープンカフェがある

- ・ 自然と都市機能の両立が保たれ、発展している
- ・ 洋館と周りの建物のバランスが保たれている
- ・ 街並みがきれい
- ・ ゴミが落ちていない、人もポイ捨てしない
- ・ 緑の多い公園があるまち
- ・ 沿道に緑や花がある。季節を感じる事が出来る
- ・ 緑がたくさんあり、小鳥のさえずりが聞こえる

- ・ その街になにかしらのテーマ性を感じる
- ・ 歴史やポリシー、文化が感じられるまち
- ・ 洋館と周りの建物のバランスが保たれている
- ・ 行く先々に色々なエピソードや言い伝えがある
- ・ 石だたみなど趣きがある道が多いところ
- ・ お寺がたくさんおる通りがきれい。昔ながらの雰囲気がある
- ・ 歴史に残る町並が、多く残っているところ

- ・ 景色のよいところ
- ・ ながめがいい（高い所からながめられる）
- ・ 海、山が見える
- ・ 稲佐山からの夜景
- ・ グラバー園からの眺めが最高
- ・ 鍋冠山からの眺望がすごい

歩いて楽しいまちのシーン

坂道、路地、裏通り。
マニアックな通りファンには
たまらない路地裏天国、長崎。
先が見えないワクワク感が
探究心をくすぐります。



緑でつながる通り。
連続性のある統一感のある街並み。
水辺の潤いを感じる通り。
気持ちの良い街並みがあります。



竜馬通り、長崎街道、オランダ坂。
長崎のまちや通りには
それぞれの表情と物語があります。



海と山と斜面地が奏でる
大景観は長崎の一押し。
100万ドルの夜景も
あなたの笑顔くらい素敵です。



3

- ⑧安心して歩ける
- ⑨コンパクトに歩いてまわれる
- ⑩居場所がある(たまり場がある)
- ⑪知りたい情報がすぐに手に入る

安心と便利



③ 安心と便利

(座談会でのつぶやき)

歩いて楽しいまちとは？

- ・ 歩くきやすかった
- ・ 誰にとっても歩きやすく、楽しいはずだし、同行者がそれを見て安心して楽しくなる。
- ・ 車を気にしないで歩くことができる
- ・ 花や木がある環境にやさしい町、障害者や高齢者が安心して歩ける町
- ・ 町中のバリアフリー、坂の町の不便さを解決

- ・ 見てまわれるところが集中している
- ・ コンパクトで楽しく歩けるところが多い
- ・ コンパクトにまとまっている
- ・ 案内板をみて、目的地までスムーズに移動できる
- ・ 街がコンパクトで歩くのに適していると思います

- ・ 要所毎に休憩場所が確保してある
- ・ 高齢者休む所が多い
- ・ 集まれる場所がある
- ・ 坂ばかりなのであちこちにベンチがあり、座っている人とお話をできたり、ネコと遊んだりできる
- ・ 小さな公園が適当な間隔である

- ・ 案内板をみて、目的地までスムーズに移動できる
- ・ 要所には案内所があり、スムーズな案内ができています
- ・ 路面電車の乗り方がわかりやすい
- ・ さるくマップが充実している

歩いて楽しいまちのシーン

安心の基本は安全性。
車を気にせず歩けます。
ベンチやトイレ、休憩スポット、
公共交通、照明も十分です。

安心して歩ける(猫もくつろぐ)



長崎は日本屈指の
コンパクトシティ。
個性派集団が歩いて廻れる範囲に
ひしめく長崎は、日本一の歩いて
楽しいまちなのです。

コンパクトに歩いてまわれる



公園、カフェ、図書館、商店街。
おしゃべりや読書はもちろん、
何をする訳ではなく、
ふらっと行きたくなる
居場所がたくさんあります。

居場所がある(たまり場がある)



目的地への行き方、公共交通の
乗り方、時刻、
美味しいお店の情報など、
知りたい情報がリアルタイムで
手に入ります。

知りたい情報がすぐに手に入る







④ 楽しい・美味しい

(座談会でのつぶやき)

歩いて楽しいまちとは？

- ・ 街を歩くとお腹が空く
- ・ 食べ歩きができる
- ・ 地図やガイドブックがなくても面白いもの、美味しいものが見つけれられる喜びがある。
- ・ 地元のうまいものがある

- ・ 商店街を通ると、活気を感じ、会話も楽しめる
- ・ 浜の町商店街での買物
- ・ 中通り商店街での買物

- ・ ファッション・音楽・映画が充実しているまち
- ・ イベントや仲間づくりが地域で行われている
- ・ おくんちのとき
- ・ 家の庭にギャラリーがあり、自然と挨拶できる関係
- ・ 祭やおくんち（人とのふれあい）
- ・ 非日常性が楽しめる、皆と健康づくりできるまち

歩いて楽しいまちのシーン

まちを歩くと、お腹がへる。
そんな時こそ食の天国、長崎です。
王道グルメからB級グルメまで、
まだまだ知らない
美味しいに出逢えます。

美味しいものに出逢える



人、モノ、情報が集まる
長崎の商店街。
買ってよし、見てよし、
休んでよし。
長崎の魅力と華やかさが
凝縮された魅惑の空間です。

買物やウィンドウショッピングが楽しめる



長崎くんちや
ランタンフェスティバル。
長崎の四季を彩る
華やかなイベントの数々。
しかし、それだけではありません。
映画祭から手作りの
コミュニティイベントまで、
サブカルチャーの魅力こそ
長崎の神髄です。

イベントやサブカルチャーなど非日常に出逢う





- ⑮地域の人と出逢える
- ⑯会話が楽しめる
- ⑰生活の息吹を感じる
- ⑱子どもの笑顔に出逢える
- ⑲もてなしを感じる



まちの呼吸が
聞こえる

⑤ まちの呼吸が聞こえる

(座談会でのつぶやき)

歩いて楽しいまちとは？

- ・ 犬がいる。散歩しながら楽しいと感じ。ベンチがあって休憩もできる。
- ・ より多くの人と話して更に一期一会を楽しめる
- ・ 街の人がいつも気かけ、挨拶をしている
- ・ 街の人とあいさつを交わしたとき
- ・ 住んでいる人たちがいつも笑顔

- ・ 人がとにかく親切
- ・ たずねた時によく答えてくれる
- ・ 旅行で長崎に来られた方にみちを教えてあげる
- ・ 人から道を聞かれるとき
- ・ 人と人の楽しい会話出会いがある
- ・ 知らない人と地元のことや歴史のことについて話し合えること

- ・ 生活が垣間見える。
- ・ ねこがいっぱいいるところ
- ・ いろいろな、楽しいまち。人がたくさんで楽しい
- ・ 住民の顔、生活が見える
- ・ 高齢者を大切にしている
- ・ 人が集まり、自然と会話が生まれている

- ・ 子供の声が聞こえる
- ・ 子どもと一緒に行動ができるシステム

- ・ 知らない人と地元のことや歴史のことについて話し合えること
- ・ 旅行で長崎に来られた方にみちを教えてあげる
- ・ たずねた時によく答えてくれる
- ・ 人がとにかく親切

歩いて楽しいまちのシーン

長崎を歩くと、
いろいろな人の笑顔に出逢えます。
何故か安心できるシーン。
やっぱり人って温かい。

地域の人と出逢える



長崎人はかなりおせっかい。
道を尋ねると、
余計なことまで教えてください。
そして、会話がはじまります。
笑ってゆるしてね♡

会話が楽しめる



長崎は観光地＝生活地。
生活感漂うまちの風景こそが、
非日常を生み出します。

生活の息吹を感じる



長崎の子どもたちの
笑顔を見ていると
なんだか、良いまちに感じる。
住んでみたいと思える瞬間。

子どもの笑顔に出逢える



まちの人との会話。
お店で会話。
タクシーでの会話。
なんだかとても温かく懐かしい。
これが長崎のおもてなし。

もてなしを感じる





②⑩楽しさ、ワクワク、
上質なまち歩きが伝わる、はじまる



タテとヨコで繋がる

6つのキーワードと20のシーン

6のキーワード

20のシーン

①心ときめく 新たな出逢い

- (1)新しい発見、出逢いがある
- (2)知的好奇心や探究心、遊び心をくすぐる出逢いがある
- (3)世界とつながる、今とつながる歴史に出逢う



②素顔の魅力

- (4)前に進みたくなる何かがある
- (5)気持ちの良い街並みがある
- (6)まちや通りにテーマを感じる
- (7)非日常的な眺望に出逢える



③安心と便利

- (8)安心して歩ける(猫もくつろぐ)
- (9)コンパクトに歩いてまわれる
- (10)居場所(たまり場)がある
- (11)知りたいものがすぐに手に入る



④楽しい 美味しい

- (12)美味しいものに出逢える
- (13)買物やウィンドウショッピングが楽しめる
- (14)イベントやサブカルチャーなど非日常に出逢う

⑥まち全体がメディア。
新しいまち歩きを伝える



⑤まちの呼吸が
聞こえる

×

×

×

×

- (15)地域の人と出逢える
- (16)会話が楽しめる
- (17)生活の息吹を感じる
- (18)子どもの声が聞こえる
- (19)もてなしを感じる

- (20)楽しさ、ワクワク、
上質なまち歩きが
伝わる、はじまる

《座談会で出された実現化のためのアイデア集》

1. 心ときめく新たな出逢い

シーン	アイデア
①新しい発見、出逢いがある	初めての「まち」や下町・武家屋敷・料亭や遊廓街をPRする。
	まちの人と歩く人のコミュニケーションを盛んにする。
	歴史があったり、おやっと思ふようなお店があったり、思いがけない発見ができるような仕掛けをつくる。
	案内板を随時変える、塗り替える。
	色々な分野の知識をもっている人など地元の人と歩ける仕組みをつくる。
	よその土地から来た人と歩くことで、意外な発見があるので、その意見を今後のまちづくりに活かしていく。
	目線を変えることで、気付かなかったものが、見えてくる。写真の撮り方も角度を変えれば、新しいものが写っている。
	路地裏猫マップを作成する。 ながさきの裏道マップ「裏道ゆらん」を作成する。 着物で街歩き。まちの人を引き付け会話ができる。
②知的な好奇心や探究心、遊び心をくすぐる出逢いがある	猥雑な中にも迷宮のようなワクワク感がある通りをPRする。(思案橋の柳小路の存続)
	昼と夜で違った顔がある、変化のあるとおりを発掘する。
	ながさきの裏道マップ「裏道ゆらん」を作成する。
③今とつながる、世界とつながる歴史に出逢う	歴史的遺産の再発見と発見する自覚を促す。
	歩いて行ける範囲に江戸末期の歴史を感じる場所が多いので歴史的な建物を残す。
	歴史的な建物・町並みを保存する。
	歴史認識を向上させる。
	建物を保存できる制度を創設する。 古い建物をできるだけ残す努力をしたり、新しく建物を造るときは長く残るようなものを造るようにする。 古い建物や民家をできるだけそのままの形で保存する。

2. 素顔の魅力

シーン	アイデア
④前に進みたくなる何かがある	中通商店街のようなほどよい広さ、新旧の店の共存を図る。
	回遊性があり、楽しいまち。くねくねした道・坂道をPRする。
⑤気持ちの良い街並みがある	景色の良い(見通しのよい)、圧迫感を感じないまちをつくる。
	統一的で景観に配慮した表示(路面に表示する等)を行う。
	色彩や音、音楽を工夫して、景観を統一する。
	1人1人がボランティア活動の意義に目覚め、環境美化に努める。
	市民病院を洋館風に建てる。
	ゴミ箱の設置。環境意識の啓発活動を進める。
	もっとまわりをきれいにする。
	景観に配慮し、車道⇒アスファルト、歩道⇒石畳にする。 道の色分け、電柱をなくす、点字ブロックを設置する。 沿道に緑や花を植える。 建物を明るくする。 大浦海岸通りと言うけど市民病院の建物が洋風ではないこと!! 考えてほしい!! 花を植える、街路樹を整備する。 中島川付近から出島まで歩けるようなルートを作る。
⑥まちや通りにテーマを感じる	歴史を感じさせる街、多国籍を感じさせる街、アーティスティックな雰囲気を感じさせる街、という風に街の主張を感じ取ることが出来るような工夫を行う。
	疲れすぎず自分のペースで歩いて、歩くほかに付加価値があることが重要。
⑦非日常的な眺望に出逢える	海や山をきれいに保つ。 雰囲気・ロケーションを作る。

3. 安心と便利

シーン	アイデア
⑧安心して歩けまわれる	食事もペットと一緒にできる（外で）店もあるといい。
	通りにゴミや障害物のないまち（通り）をつくる。
	公衆トイレの設置、店舗やNPOが協力する体制づくりを進める。
	ミニバスの導入・バリアフリー化・お手伝いシートをつくる。
	公共トイレをきれいにする。
	くわえタバコをなくす。
	車の進入制限を行う。
	マナーを守る、ポイ捨てをしない。
	安心して歩くことができる、車優先でなく、住んでいる人が住みやすい町、道づくりを進める。
	ベビーカーや子供連れに優しい通りづくりを進める。
	お年よりや、体の不自由な人に対して、もっと歩きやすい道路整備を行う。
	バリアフリーや緑地化、あいさつ。
	斜行エレベーターを設置する。
	所々にベンチを置いたり休憩所を作る。
	段差を解消する。
	歩行者専用道路をつくる。
側溝の溝蓋の整備。行政への要請と労働奉仕活動を行う。	
周囲の景色の移り変わりを楽しみながら車を気にせず歩けるような歩道の整備を行う。	
歩く人と車とのすみわけ、自転車走りやすいとよりいい。	
ゴミ箱を設置する。	
トイレのある場所を明記する。	
各々が公園で会話を楽しんだり、休憩したりするためのポケットパークを整備する。	
あいさつの励行。	
⑨コンパクトに歩いてまわれる	歩いて行ける範囲に江戸末期の歴史を感じる場所が多いのでなるべく歴史的な建物を残していく。
	近道マップをつくる。
	町名や観光案内、道しるべが、きちんと整備された通りにする。
⑩居場所（たまり場）がある	座っている人とお話ができたり、ネコと遊んだりできるようあちこちにベンチを設置してほしい。
	ベンチがあり、緑を楽しむことが出来る。
	雑貨屋とオープンカフェがあり、季節ごとにきれいな花が咲き、日陰のできる大きめの街路樹がある場所をつくる。
	公園等を増やす。
	一休み又は語らう事ができる場所。まず、緑の木立が必要。
	公園のデザインを良くする（人をひきつけるような）。
	小さな公園（遊具のバリエーション豊富）を整備する。
	世代を超えた触れ合いの場を作る。
集まる場所を病院から博物館・美術館へ	

3. 安心と便利(つづき)

シーン	アイデア
⑪知りたいものがすぐに手に入る	町名や観光案内、道しるべが、きちんと整備された通りにする。
	観光施設の道案内を行う。
	近道マップをつくる。
	町名を入れた地図を作成する。
	案内板とパンフレット、タウン誌とのリンクや統一性を図る。
	トイレのしるし、地図の町名記載を行う。
	統一的で景観に配慮した表示（路面に表示する等）を行う。
	要所に案内所の設置（外国語対応）、商店街の協力を。
	案内板を増やす。
	わかりやすく分類して上手い説明するもの（看板、標識、室内図、マップ、ルート等）を整備する。
	街の中心に情報発信基地をつくる。
	案内板の外国語表示がほしい。
	観光スポットへの案内板がもっと手前からあればよい。
	市民全員で地域版ウェキペディアを制作しマップをつくる。
ウォークラリー専用の地図があると良い。	
まち歩きにて得た情報の集約と発信を行う。	

4. 美味しい・楽しい

シーン	アイデア
⑫美味しいものに出逢える	ご当地グルメの飲食店の集積を進める。
	女性をターゲットにしたお店、食のセレクトショップを作る。
	韓国や台湾の市場のような特徴のある売り場、骨董市場、食べもの市場、・・・の市場など。
	街のあちこちに立って食べられる名物をつくる。
	食べ物さるく、スタンプラリー等の仕掛けづくり（市民も参加できる）。
食べ歩きマップ・市場マップを作る。	
⑬買物やウィンドウショッピングが楽しめる	空いた店舗をもっと貸しているいろいろな店が増えるともっと楽しい。
	大型のモール→商店を大切にしていく。
	小売店の活性化を進める。
⑭イベントやサブカルチャーなど非日常に出逢う	かわいなお店とかたくさん増えたらいい。
	中心市街地の計画をつくる
	観光にちなんだ催しをつづけて欲しい。
	龍馬伝がおわっても、いろんなイベントをつづけてほしい。
	車の進入を止めて歩行者天国にしてオープンな場所を作る。
	イベントを沢山増してほしい。
	まちの風景をできる限り守る、祭りなどの文化を大事にする。
	商店街・市場での年間通してのイベントとその工夫・継続。
	歩行者天国等オープンスペースでのイベントを行う。
	浜の町映画祭の時に「NGSK48劇場」を。
	子供向けイベント・子供会を実施する。
	親子向け参加型イベントを開催する。
地域で夜市をモデルケースとする。	
着物で街歩き。まちの人を引き付け会話ができる。	
地域のまつりの復活（統合、予算などの工夫）を進める。	

5. まちの呼吸が聞こえる

シーン	アイデア
⑮地域の人（猫）と出逢える	沿道の家や店が植物を展示する 路地裏猫マップの作成
⑯会話が楽しめる	歩道が整備され、集まる場所を作る 情報発信の仕組み、カフェなど憩いの場所、いろんな人が知り合いになれる。 お店の人や観光客と話す機会を多く 井戸端会議できるような空間を商店街（市場）内に設置 人口増、観光客誘致、会話を楽しむベンチの整備 ボランティアで人との付き合い まちの人と歩く人のコミュニケーションを盛んにする。 着物で街歩き。まちの人を引き付け会話ができる。
⑰生活の息吹を感じる	民家の中に、観光地が雰囲気良く調和しているような場所に休むところを作って欲しい 街の人とあいさつを交わす くらしが、いきづいている町並で、生活者が、自分の居住地域をこよなく、いつくしみ、歴史文化を大切にする
⑱子どもの声が聞こえる	世代を超えた触れ合いの場を作る 眼鏡橋周辺等、地元民も憩う観光地のPR
⑲もてなしを感じる	街中の方々が自分の街を知ってもらって、自分の街の良い所を話せるようにする。 あいさつの励行 みんなが温かい気持ちを持つ あらゆる場所に人の手を感じる街を目指す。（清掃など） 遊び心いっぱいでの活動でのおもてなし よそ者を特別扱いたない。フレンドリーなもてなしの心を育てる。 いつでも周りの人に思いやりのめを向ける、話しかける勇気を持つ 外に出る機会を多く持つことで人との知り合いの場を作る

第3章

歩いて楽しいまち
実現するために

1 実現化の道すじを考える

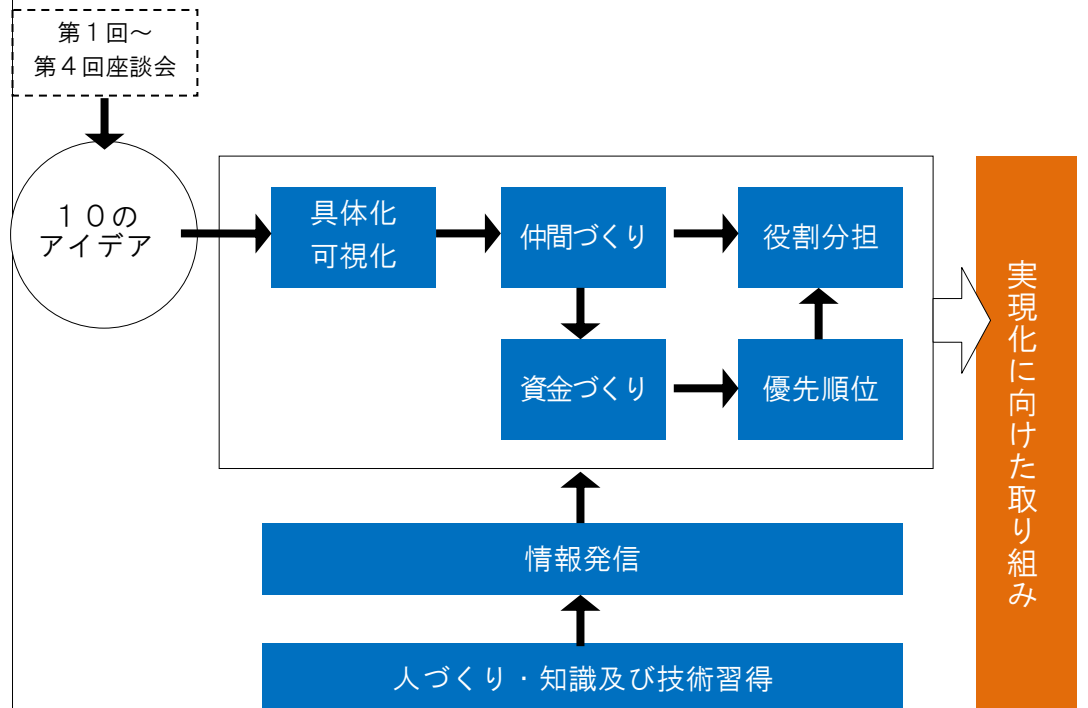
ここからは、歩いて楽しいまちづくり構想を実現するための道すじや、それを支えるための体制・仕組みなどについて考えます。

第5回座談会

2月26日(土)
14:00~16:30
長崎市立図書館
新興善メモリアル
ホール

【テーマ】 歩いて楽しいまちってどんまち？

第5回座談会では、これまでの座談会で出されたアイデアをもとに、10のモデルプロジェクトを定め、それを実現するための道すじを考えました。



(検討結果)

プロジェクト	検討結果・課題
①一人一人の地域情報を集めて発信する	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①集めて、②加工して、③発信するという作業が必要。 ・ デジタルであれば収集して発信する①から③の作業が1発でできる。 ・ その一方でパソコンになじみのない人にも情報を出してもらって、情報を伝える媒体が必要。 ・ 長崎には既存の地域情報がたくさんあるが、外から長崎へ移ってきた方の視点から見た方が、価値ある情報かどうか分かりやすい。 ・ まちの情報がそもそも正しいのかどうかの辞書がある。 ・ 実行には、優先順位と資金の検討が必要。
②たまり場を創る	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントをすると人が集まる。 ・ イベントをしなくても、ゆったりできる場所づくり。 ・ 一番たいせつなことは子どもからお年寄りまでが集まれる場所であること。 ・ イベントの難しいところは、一体だれがするのか。
③歴史的な建物や街並みを保存する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の歴史を認識する勉強会を行う。 ・ 市民がチームを組んで建物や街並みの大切さを勉強し、企業や行政へ保存についてアプローチする取り組みを行う。 ・ 公と私のもので保存へのプロセスが違う。 ・ この座談会のメンバーで市民グループのチームを募ってはじめてはどうか
④ごみのないまちにする	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの夜間収集。 ・ 小さい袋を一人一人が携行するマイごみ袋の取り組みにより、まちの中のごみ箱が不要になる。 ・ 子どもと大人が町の中の不法投棄やごみの散乱を見てまわる「ごみマスターズ」の取り組み。
⑤まちを楽しむための広場やベンチを設置する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広場づくりは難しいのでベンチから考えて見る。 ・ まずは設置場所の調査を行い、データ化し、ベンチをやみくもに置かないこと。 ・ それをもとに市民と市役所が話し合う場の設定が必要。 ・ 行政と自治会と大学一緒に取り組むことが必要。 ・ 素材の具体化としては、座りやすいと思う素材、廃材を再資源化したものを使用、県産木材の活用するなどのアイデアがある。 ・ 場所の具体化としては、狭い空き地を借りたり、道の残置で、歩いてみてベンチがほしい場所を見つけたり、必要な場所アップ会議を開催したりする。 ・ 仲間づくりは、PTA役員、スペースを持つ個人、大学生のまちづくり参会、さるくガイドの声、ボーイスカウトのまきこみ。 ・ お金は自治会費、資源回収補助金、商店街の寄付、補助金。
⑥案内板の情報を常に更新する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街に無線LANの整備を行うようにしているため、まちづくりの情報も掲載してはどうか。 ・ 誰が発信するのか。 ・ たとえば市が一元化し、NPOなどに委託するなどの方法。
⑦朝市・夜市を開催する	<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは朝市・夕市を開催し、そののち飲食スペースづくりへ ・ 朝市イメージは、長崎発祥のやさい、長崎特産品、ここに行けば長崎の食が全部わかる一大拠点、B級グルメ、長崎名物が食べられる食さるく。 ・ 夜市のイメージは、中島川夜市にいろんなものが持ちあえる、夜市屋台村、夜や冬に暖かいものが食べられる。 ・ 場所の候補としては公会堂、市民会館、築町、中通り、県庁跡地、水辺の森、中央公園、出島、出島ワーフ
⑧楽しいお店を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客向けと地元向けの2つの視点で考える。 ・ 観光客にとっては、ビードロづくり体験のように、物は残り心に残る店など、いかに長崎のイメージをお店が大事にできるか、長崎だから来たいと思わせるかだと思う。 ・ 地元の人が満足するお店として、若者が地元に残るような、若い人がくつろげ店や、若者が運営する店があるといい。 ・ ターゲットをしぼり、長崎の個性がある店が必要。
⑨冬。訪れる街へ。-ハートがきらめく夜の長崎	<ul style="list-style-type: none"> ・ ターゲットを観光客、女子にしぼる。 ・ 稲佐山をデートスポットとするしかけ。 ・ 若いカップルのための街づくりはできるだけ、若者（できたら、しがらみのない大学生）の意見を参考に。というのも、若い感性でしか見えない景色があるから。
⑩農のある都市型ライフスタイル「さかのうえん」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営体制をどうするかが実施の課題 ・ どういうコンセプトで、既存農家と連携しながらお金がまわるしくみをつくる。

2 みんなでつくるまちに向けて

①実現化の道すじ

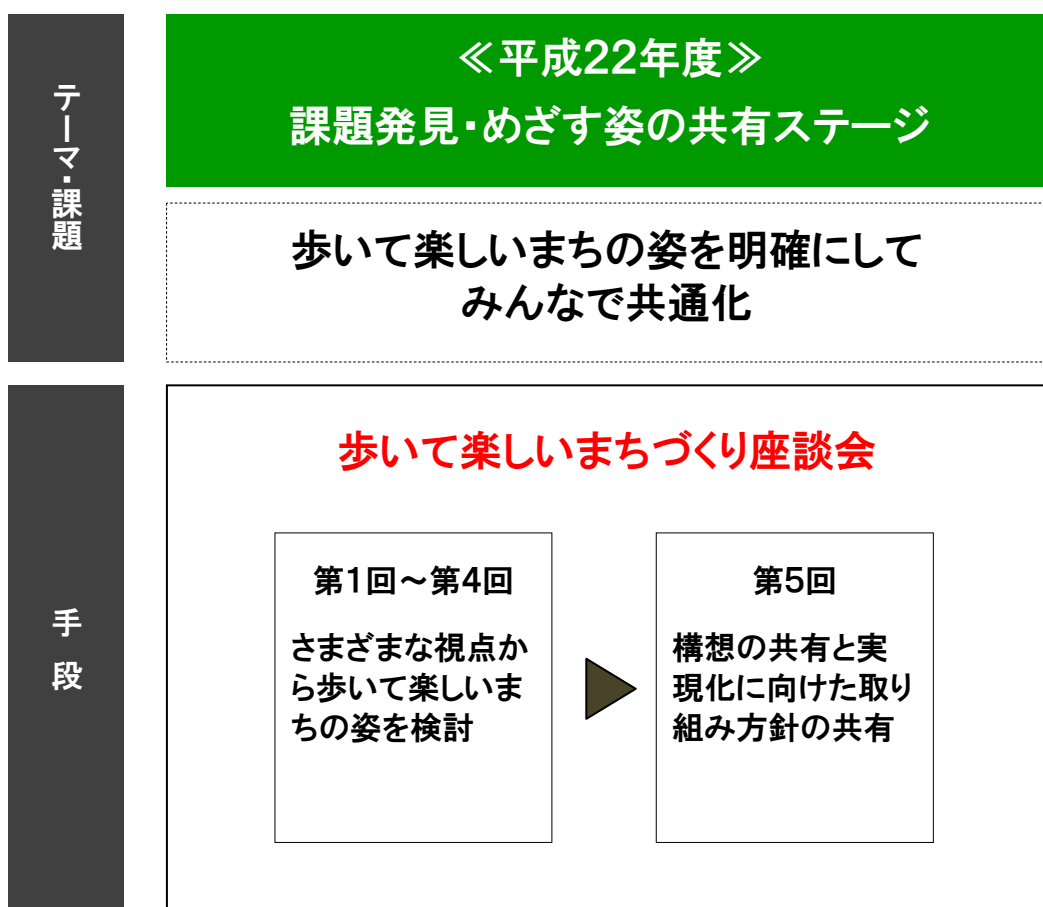
平成22年度は計5回の座談会を開催し、歩いて楽しいまちの姿を考え、みんなで共有を図りました。


そして平成23年度からはいよいよめざす姿の具体化を図る「実現ステージ」へ進展しますが、そのためには3つのステップが必要と考えます。

ステップ1は、実現のための具体化・可視化や仲間づくり、実行体制の検討など、実現化を図るための基盤を構築する段階です。

ステップ2は、実現化に必要なさまざまな取り組みを総合的にとらえ、優先順位を検討したり、具体的な手段や資金の検討を行います。

ステップ3は、実際にカタチにし、日常生活との融合を図りながら継続・成長を進める段階です。





《平成23年度》
実現ステージ

歩いて楽しいまちの姿を
実現するにあたり必要なものを検討

多様な市民参画の場と機会

step1

- 実現のための
具体化・可視化
- 仲間づくり
- 実行体制検討

step2

- 優先順位検討
- 手段や資金の
検討

step3

- カタチにする
- 日常に融合し
継続する
- さらに拡大

② みんなでつくるまちの基本姿勢と提言

歩いて楽しいまちづくり構想では、めざす姿とそれを実現するために必要なこと・道すじをまとめてきました。

平成23年度からはこの構想をもとに市民みんなで、出来ることから一つひとつ行動を興すことが大切です。

まちづくりは、暮らしづくり、未来づくり、希望づくり、人づくりなど多様な側面を持っています。長崎を訪れる人、長崎に暮らす我々市民、そして、未来を担う子どもたちのために、みんなでつくるまち、長崎の実現を目指します。

最後に、みんなでつくるまちの実現のための提言をまとめます。

まちづくりは、暮らしづくり

まちづくりは、未来づくり

まちづくりは、希望づくり

まちづくりは、人づくり

まちづくりは、子供のために

まちづくりは、未来の大人のために

みんなで作るまちを支える仕組みの提言

1. 歩いて楽しいまちの姿の共有化
2. 仲間づくりや情報交換が出来る場の設定
3. 様々な活動の情報発信・共有化の実現
4. 様々な活動に携わる人の輪づくり
5. 市民間、市民と行政との間の合意形成の仕組み

歩いて楽しいまちづくり構想

発行日：平成23年3月

発行：長崎市

編集：長崎市都市計画部まちづくり推進室

〒850-8685 長崎県長崎市桜町 2-22

TEL. 095-829-1271 FAX. 095-829-1175

machidukuri@city.nagasaki.lg.jp